

五月晴れのもと 本堂落慶法要厳修される

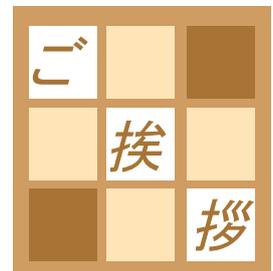
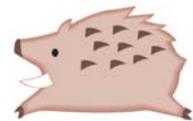


金澤山 円能院 福泉寺



<10号>

真言宗 智山派
円能院
川崎小田



平成二十年五月六日

五月晴れのもと、午前11時六十七名のお稚児さんが小田小学校を出発し、商店街を通り円能院までお練り行列を行い、本堂前で加持を受け、健やかな成長を祈願した。



12時から例年のお施餓鬼にご助法頂いている金嶺会の10力寺の、ご住職に職衆をお願いし、当山住職の導師のもとに落慶法要が厳修された。法要に続いて、檀徒総代・本堂建立委員長八木下喜治様より、「檀信徒の皆様のご理解とご協力のおかげで見事な本堂が完成し、ご先祖への感謝の気持ちと、子々孫々への思いが形となった」と式辞をいただいた。

本堂建立委員会顧問をお努め頂いた、(株)ユウ・コーポレーション小西敏治社長から工事の経過報告がなされた。

「前回のオリンピックの年からかわらせていただき、北京オリンピックまで約4年間を経て、落慶法要を迎えられましたことは皆様の熱意の賜物です。バリアフリー・耐震性・風格ある木造建築などさまざまな要望が見事に結晶しました」

次に、真言宗智山派から頂いた賞状が、真言宗智山派神奈川教区長 延命寺住職 今野隆道僧正から当院檀信徒総代・本堂建立委員会 會田勝規様へ授与された。

続いて、円能院住職より円能院建築委員会顧問 ユウ・コーポレーション社長 小西敏治様、飛鳥建設株式会社取締役執行役員 大丁佳雄様、小島建設代表取締役社長 小島隆様に感謝状が授与された。

さらに、金嶺会を代表して、東神奈川の金嶺院住職 佐伯隆弘僧正より、「祝辞を頂戴した。檀の香りがする本堂内で、琴・藤木豊乃様・近藤智子様・鼓・望月太三郎様による箏曲、三味線・杵屋五三郎様・杵屋五三郎様、囃子・望月太三郎様・望月太三郎様・望月太三郎様・福原寛様による長唄が奉納され、見事な演奏により式が一層華やいだものとなった。



5月6日の落慶式を無事に迎えられましたことに対して心から感謝申し上げます。新本堂はバリアフリーで、玄関からスロープを通して車椅子でも本堂内にお入りできます。本堂の床は石で椅子に座ってお参りできます。また、新本堂は冷暖房完備です。これからの暑い季節でもご本堂内は今までよりずっと快適になると思います。

新しい閼伽所（水場）ができましたので、多くの方にとって今までもよりも桶を持って歩く距離が短くなると思います。本堂脇には新しい墓地が整備できました。お申し込みは円能院前の阿部石材店にお願いいたします。また、永代供養墓も新設されました。後継者がいらっしゃらない方のお骨をお祀りする共同のお墓です。ご関心をお持ちの方は当院にご連絡下さい。

本堂落成をもちまして、円能院の境内整備が完了いたしました。しかし、墓参の折や法要時にご不便を感じられることも多々おありだと思えます。そのような時には積極的に当院におっしゃってください。円能院が皆様の生活の中に安らぎを感じられる場所であるよう、これからも前進したいと思います。

お施餓鬼

7月10日 お施餓鬼会 午後2時から法話 3時から法要

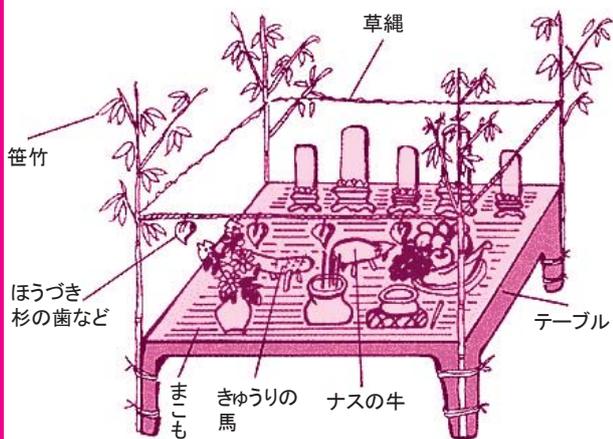
お盆

7月13日 迎え火を焚いてご先祖様をお迎えしましょう。
16日 送り火を焚いてご先祖様をお送りしましょう。

本堂での供養は午前11時・午後3時に行います。
新盆をお迎えのお宅には伺いますので、電話でお問い合わせ下さい。

精霊棚のお飾りの仕方

精霊棚は、盆棚とも言われお位牌を安置してお供えをする棚です。



お盆について

お盆のはじまりについては『孟蘭盆経』の中の親孝行の大切さを説いた教えが昔から知られています。それは、「お釈迦様の弟子の中で、神通力一番とされている目連尊者が、神通力によって亡き母が餓鬼道に落ち逆さ吊りにされて苦しんでいると知りました。そこで、どうしたら母親を救えるのか、お釈迦様に相談にいきました。するとお釈迦様は、おまえが多くの人に

それ以来（旧暦）7月15日は、父母や先祖に報恩感謝をささげ、供養をつむ重要な日となったのです。わが国では推古天皇の14年（606）に、はじめてお盆の行事が行われたと伝えられています。自分ひとりだけの幸せを求めるのではなく、ご先祖様や苦しんでいる人の気持ちを理解し優しい気持ちで生活したいものです。

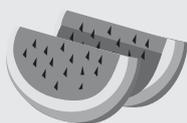


施しをすれば母親は救われると言われました。そこで、目連尊者はお釈迦様の教えにしたがい、夏の修行期間のあける7月15日に多くの僧たちに飲食物をささげて供養したのです。すると、その功德によって母親は、「極楽往生がとげられました」という話です。

編集後記

ミャンマーのサイクロン、中国四川省・岩手・宮城内陸で地震がおきました。被災地の状況の一刻も早い復旧を心からお祈り申し上げます。このような天災がおきると改めて人間の力の小ささを思い知らされます。非力な人間であるからこそ、謙虚に協力しながら生きてゆきたいものです。

お盆やお施餓鬼は今生きているわれわれを中心に考えるのではなく、悠久の歴史から現在を捉えなおすという行事だと思えます。普段の生活では意識しないことに気づくことができ、足を確固たるものにしたいたいものです。



発行所
金澤山 円能院 福泉寺
川崎市川崎区小田
1丁目25番12号
電話:044(333)4476
FAX :044(366)6972

発行人
佐藤 隆賢